

鳥居龍蔵生誕 150 周年記念 国際シンポジウム

# 鳥居龍蔵と 現代社会

— その学問と資料の意義を問う —



2021

**3.21** 日 13:00 ~ 17:00

会場：文化の森 イベントホール

※参加無料

※事前申込不要（先着 100 名まで）

主催／徳島県・一般財団法人自治総合センター 後援／総務省

文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館



2020年度は鳥居龍蔵の生誕150周年となる記念の年であり、同時に、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館開館10周年の節目にもあたります。そこで、今回のシンポジウムのテーマは「鳥居龍蔵と現代社会ーその学問と資料の意義を問うー」としました。鳥居が生涯を通して実践した「学問」と、これと対のものとして現代に残された「資料」を取り上げ、これらの現代社会のなかでの意義について考えます。

先覚者は何を語り、何を残し、我々は何を学ぶのか。生誕150周年を機に、鳥居龍蔵とその資料の現代的価値を、世界の各地域をフィールドに活躍する研究者にとともに、国際的な視点から問い直し、鳥居龍蔵の再評価につなげたいと思います。

**12:00～13:00 受付**

**13:10～13:35 講演Ⅰ「戦後日本考古学における鳥居龍蔵の再評価」**  
中村 豊氏（徳島大学）

**13:35～14:00 講演Ⅱ「千島列島・樺太調査から」**  
齋藤玲子氏（国立民族学博物館）

**14:00～14:25 講演Ⅲ「西南中国調査から」**  
吉開将人氏（北海道大学）

**14:35～15:00 講演Ⅳ「台湾調査から」**  
宮岡真央子氏（福岡大学）

**15:00～15:25 講演Ⅴ「アンデス考古学の視点から」**  
関 雄二氏（国立民族学博物館）

**15:25～15:40 十代の提言「鳥居龍蔵に学び、未来を拓く」**  
全国高校生フォーラム出場者による意見発表

**15:40～16:05 総括コメント「鳥居龍蔵とファミリー」**  
天羽利夫氏（鳥居龍蔵を語る会）

**16:15～16:55 パネルディスカッション**

・パネリスト 中村 豊氏  
齋藤玲子氏  
吉開将人氏  
宮岡真央子氏  
関 雄二氏  
天羽利夫氏

長谷川賢二（鳥居龍蔵記念博物館）

・コーディネーター 石井伸夫（鳥居龍蔵記念博物館）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、講演者がオンライン参加になるなど、予定が変更になる場合があります。



- 徳島駅から  
バス…約25分  
タクシー…約15分
- 文化の森駅から  
徒歩…約35分
- 徳島自動車道  
「徳島 I.C.」から  
車…約20分  
※無料駐車場有り

文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向香山  
tel 088-668-2544 fax 088-668-7197  
https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp